

都市再生整備計画

ひめじじょうしゅうへん ちく だい き
姫路城周辺地区(第2期)

ひょうごけん ひめじし
兵庫県 姫路市

令和7年1月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	■
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	☐
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	☐
まちなかウォークアブル推進事業	☐

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)－②

都道府県名	兵庫県	市町村名	ひめじし 姫路市	地区名	ひめじじょうしゅうへんちく　だい　き 姫路城周辺地区(第2期)	面積	282	ha
計画期間	令和	7	年度	～	令和	11	年度	
					交付期間	令和	7	年度
						～	令和	11
							年度	

目標
大目標：世界文化遺産・姫路城を擁する播磨の中核都市にふさわしい、活気に満ちあふれた魅力ある都心の実現 目標1：歴史を感じ、魅力と感動にあふれる姫路城周辺地区の観光まちづくり 目標2：安全・安心、快適な都市空間を創出し、人々が集い、賑わい、交流するまちづくり 目標3：官民一体となった賑わいのある歩行者空間の創出
目標設定の根拠
都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) ※都市構造再編集中央支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。 本市では、姫路駅を中心に各種交通機関や商業・業務機能が集中し、播磨地域における社会経済活動の中心地として発展してきた。しかしながら、モータリゼーションの進展等を背景とした市街地の拡大、少子高齢化に伴う人口減少等を背景に中心市街地の空洞化が進み、低密度な市街地の形成等による都市機能の低下が懸念される。こうしたことから、中心市街地において、姫路駅周辺都市再生整備計画事業や、公共が保有する低未利用地を活用した教育文化施設、手柄山中央公園の再整備により、都市機能の拡散防止及び市民の生活利便性の維持・向上を図っている。また、世界文化遺産・国宝「姫路城」の観光資源を最大限活用し、交流の拡大を図る。 さらに、JR姫路駅を中心とした中心市街地の一部を「滞在快適性等向上区域」に位置づけ、沿道において、民間事業者が店舗の1階部分のガラス張り化や、オープンスペースを整備し、滞留空間を形成し、官民一体となって居心地の良いまちなかを創出する。 一方、既成市街地外縁部の住宅地では、人口減少、居住者の高齢化が顕著であり、人口密度を維持、経済力の維持・強化や地域コミュニティの維持・活性化を図る必要がある。このため、公共交通(駅・バス停)を拠点として、都心部や地域生活圏とのネットワーク化や公共交通網の充実を図りながら、ものづくり力の維持・強化につながる労働人口の増加に取り組むとともに、歩行者空間の確保や若者の転出超過の解消、子育てしやすい環境づくり、元気な高齢者の増加に取り組む。 公的不動産の活用策として、郊外移転した市場跡地を活用し、教育文化施設の整備を行うことで、都市機能の拡散防止と公共不動産の有効活用を図る。
まちづくりの経緯及び現況
世界遺産・国宝「姫路城」を擁する姫路市の都心部は、本市を代表する都市イメージを形成・発信するとともに、古来より播磨の商業・業務・交通の中心としての役割を果たし、また、買物や飲食はもとより文化や芸術などに触れ、出会いや楽しみの場となっていた。特に大手前通りを中心とした地区は、かつては城下町として栄え、姫路市の商業・業務の中心的役割を果たしてきたが、都心部を取り巻く環境や社会経済情勢の変化、市民意識の変化などにより、果たしていた役割に陰りがみられるようになってきた。また、本市中心部の課題として、鉄道により市街地が南北に分断されており、慢性的な交通渋滞など、様々な問題が発生していたが、鉄道を高架化することで南北市街地の一体化と交通の円滑化を図ることを目的とし、連続立体交差事業が実施されることとなった。この鉄道高架事業を契機として総合的・一体的な都市基盤整備が実施され、姫路駅北駅前広場や眺望デッキ、大手前通りの再整備などが実施され、都心回遊の拡大や都心居住の促進など、播磨の中核都市にふさわしい良好な都市空間が形成された。また、姫路駅東側では、姫路市文化コンベンションセンター(アクリエひめじ)や県立はりま姫路総合医療センター(はり姫)の整備により、姫路駅周辺部の回遊性の拡大や都心の活性化が図られた。さらに、令和2年度には「居心地がよく歩きたくなるまちなか」の形成に向けたウォーカブル推進計画を策定し、大手前通りにおいて令和4年度から歩行者利便増進道路制度を活用し、官民連携による歩道の利活用が開始され、計画に基づく日常的な賑わいや滞留空間の形成が進んでいる。 一方、大手前通りの白銀交差点以南においては、全国初のトランジットモール化となっているが、一部区間においてトランジットモールが完成されておらず、より安全・安心な歩行者空間の形成を推進していくため、トランジットモールの完全化が求められている。また、姫路駅前広場においては整備から10年が経過し、さまざまな市民活用が進んでいるが、利用は一部に限られ、より良い活用方法の検討が求められている。また、本市を訪れる観光客は、コロナの影響によりピーク時から若干低下しているが、令和4年度で総入込客数695万人、姫路城周辺では約188万人となっている。姫路城を訪れる来日外国人観光客は、令和5年度には過去最高の年間約45万人に達しており、観光まちづくりを推進することが求められている。さらに、当地区は、このような都市整備、ソフト事業、観光まちづくりに加え、脱炭素先行地域として世界文化遺産・国宝「姫路城」とその周辺の公共施設の省エネルギー化や市民・観光客・事業者に対する行動変容施策等を進めている。
課題
・インバウンド需要やスモールツーリズムの拡大に対応した、姫路城周辺地区の魅力と回遊性の向上による賑わいの創出 ・回遊性の拡大に伴う、姫路駅周辺部における安全・安心で快適な歩行者空間の確保 ・姫路駅前トランジットモールの完全化にむけた整備方針及び手法の検討 ・官民協働による快適な都市空間や景観の形成による賑わいと交流の創出と街なかの活性化
将来ビジョン(中長期)
①姫路市総合計画「ふるさと・ひめじプラン2030」(2021-2030)(令和2年度策定) ・賑わいあふれた「人」中心のまちなかづくり (快適な歩行者空間を整備するとともに、公民が連携して道路等の公共空間を利活用し賑わいを創出することで、居心地が良く歩きたくなる「人」中心のまちなかづくりを進めます。) ・観光客に寄り添った受入環境の整備、生きた歴史・文化・魅力を体感できる観光コンテンツの充実 ・ハード事業とソフト事業を連携させたまちなかづくり ・民間主導・行政支援によるまちなかづくりの推進 ・地球温暖化対策に寄与する脱炭素型のまちづくりの推進 ②姫路市都市計画マスタープラン(2015-2030)(平成26年度改定) 歴史的・文化的資源の活用による都心の魅力を高め、地域の特性を生かしつつ回遊性の高い都心の形成を目指し、高次都市機能の集積と基盤整備を進め、あわせて都心居住を促進し、播磨の中心都市にふさわしい魅力と活力ある都心の形成を目指す。 ②姫路市ウォーカブル推進計画(2021-) (令和2年度策定) ・外出・来街の動機となる魅力的な目的地を増やす ・安全安心で快適なアクセスルートの選択肢を増やす ・ウォーカブルな環境づくりに資する様々な取組み(多様な空間(駅前広場・公園・水辺等)の利活用の促進、リノベーションまちづくりの推進、多様な空間の利活用の促進)を実施

都市構造再編集中支援事業の計画 ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。								
都市機能配置の考え方 ・立地適正化計画で目指す都市構造としては、「多核連携型」を基本とし、鉄道駅周辺等に人口や都市機能施設が集積し、生活利便性に優れた「拠点」を形成することにより、快適で住みよい生活圏を構築するとともに、活力ある都心部を形成するまちづくりを行う。 ・特に中心市街地は、歴史的に播磨地域の中心都市であった経緯から、鉄道駅やバスターミナルといった公共交通の結節機能、百貨店や商店街、企業の支店等を中心とした経済機能、市民会館や駅前市役所等の公共公益機能をもとより有しているところであるが、まちの賑わい及び感動の創出並びに地域経済の活性化に寄与するため、観光交流機能の充実を図る。								
目標を定量化する指標								
指 標		単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
地価公示価格		%	姫路駅周辺での公示地価の変動率	賑わい、快適な都市空間を創出により、下落傾向にある地方都市の地価の維持を目指す。	-	R5	±0%	R11
姫路城周辺の観光施設来訪者数		千人／年	姫路城周辺にある公共施設(好古園・美術館・歴史博物館・姫路文学館)利用者数	姫路城周辺における観光交流センター等による回遊性の向上の効果として、姫路城周辺施設の利用者の増加を目指す。	1,170	R5	1,230	R11
歩行者等通行量		人／日	姫路駅周辺における歩行者等通行量	歩道の高質化等による歩きやすい空間の創出により、歩行者等通行量の増加を目指す。	18,414	R6	20,000	R11

都市再生整備計画の整備方針等

様式(1)-③

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
【歴史を感じ、魅力と感動にあふれる姫路城周辺地区の観光まちづくり】 ・姫路駅と姫路城の中間地点における観光交流拠点の整備 ・市民や観光客が活用する公共トイレや歩行環境の充実	【基幹事業】（高次都市施設 観光交流センター）観光交流センター整備事業 【基幹事業】（高質空間形成施設 緑化施設等）2号公園整備事業 【基幹事業】（高質空間形成施設 歩行支援施設、障害者誘導施設等）バリアフリー対応トイレ等整備事業 【基幹事業】（高質空間形成施設 緑化施設等）城西12号線歩道高質化事業	
【安全・安心、快適な都市空間を創出し、人々が集い、賑わい、交流するまちづくり】 ・安全・安心で高質な歩道・通路環境の充実 ・人々が集い、賑わい交流する空間の確保 ・市民が活用する公共トイレの充実	【基幹事業】（道路）姫路駅周辺地区（（都）内環状東線ほか1路線） 【基幹事業】（道路）南駅前広場周辺まちなみ整備事業（無電柱化） 【基幹事業】（高質空間形成施設 緑化施設等）姫路駅北駅前広場高質化事業 【基幹事業】（高質空間形成施設 緑化施設等）南駅前広場周辺まちなみ整備事業（美装化） 【基幹事業】（高質空間形成施設 緑化施設等）コアゾーン南側高架側道整備事業 【基幹事業】（高質空間形成施設 緑化施設等）2号公園整備事業	
【官民一体となった賑わいのある歩行者空間の創出】 ・商業施設等と通路空間が一体となった歩行者空間の魅力的な演出 ・歩行者の利便性・まちの回遊性の向上	【基幹事業】（高質空間形成施設 緑化施設等）内々環状東線東側通路高質化事業 【提案事業】（まちづくり活動推進事業）姫路駅東西自由通路にぎわい創出事業 【提案事業】（まちづくり活動推進事業）姫路駅北駅前広場みらい創造事業 【関連事業】 公共空間利活用（大手前通り、姫路駅北駅前広場）	
その他		
【その他官民協働の取り組み事例】 ・大手前通りまちづくり協議会による歩道の利活用の開始（令和4年） ・姫路駅北駅前広場において、民間事業者による利活用の開始（令和4年） ・姫路駅東側の歩行者専用道路において、民間事業者による利活用の開始（令和5年）		

目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項(都市構造再編集集中支援事業)

様式(1)-④-1

交付対象事業費	2,119	交付限度額	1,059.5	国費率	0.5
---------	-------	-------	---------	-----	-----

「都市構造再編集集中支援事業」を活用の場合、本様式を使用すること

(金額の単位は百万円)

基幹事業		事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	交付期間内事業費		交付対象 事業費	費用便益比 B／C
事業	細項目					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分		
道路		姫路駅周辺地区((都)内環状東線ほか1路線)	姫路市	直	L=115m A=5,304㎡	H1	R11	R7	R11	360	360	360		360	－
道路		南駅前広場周辺まちなみ整備事業(無電柱化)	姫路市	直	L=80m	R7	R7	R7	R7	35	35	35		35	－
公園															
古都保存・緑地保全等事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設															
高質空間形成施設		姫路駅北駅前広場高質化事業	姫路市	直	5,000㎡	R7	R11	R7	R11	200	200	200		200	－
高質空間形成施設		南駅前広場周辺まちなみ整備事業(美装)	姫路市	直	470m	R7	R11	R7	R11	133	133	133		133	－
高質空間形成施設		コアゾーン南側高架側道整備事業	姫路市	直	210m	R7	R9	R7	R9	65	65	65		65	－
高質空間形成施設		2号公園整備事業	姫路市	直	2,240㎡	R7	R8	R7	R8	240	240	240		240	－
高質空間形成施設		バリアフリー対応トイレ等整備事業	姫路市	直	1式	R7	R7	R7	R7	67	67	67		67	－
高質空間形成施設		城西12号線歩道等高質化事業	姫路市	直	L＝520m	R7	R11	R7	R11	270	270	270		270	－
高次都市施設		地域交流センター													
		観光交流センター	観光交流センター整備事業	姫路市	直	325㎡	R7	R9	R7	691	691	691		589	－
		テレワーク拠点施設													
		賑わい・交流創出施設													
		子育て世代活動支援センター													
		複合交通センター													
誘導施設		医療施設													
		社会福祉施設													
		教育文化施設													
		子育て支援施設													
		元地の管理の適正化													
基幹的誘導施設															
既存建造物活用事業 高次都市施設															
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
バリアフリー環境整備事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地総合整備事業															
エリア価値向上整備事業															
こどもまんなかまちづくり事業															
合計										2,061	2,061	2,061	0	1,959	

提案事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	交付対象	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分
地域創造 支援事業													
事業活用 調査		事業効果分析調査	姫路市	直		R11	R11	R11	R11	10	10		10
まちづくり活動推進 事業		姫路駅東西自由通路にぎわい創出事業	姫路市	直		R7	R10	R7	R10	100	100	100	100
		姫路駅北駅前広場みらい創造事業	姫路市	直	一式	R7	R11	R7	R11	50	50	50	0 50
合計										160	160	150	0 160

…B

…B

姫路城周辺地区(第2期)(兵庫県姫路市) 整備方針概要図(都市構造再編集集中支援事業)

目標	大目標: 世界文化遺産・姫路城を擁する播磨の中核都市にふさわしい、活気に満ちあふれた魅力ある都心の実現	代表的な指標	地価変動率 (%)	-	(R5年度)	→	±0%	(R11年度)
	目標1: 歴史を感じ、魅力と感動にあふれる姫路城周辺地区の観光まちづくり		姫路城周辺の観光施設来訪者数 (千人/年)	1,170	(R5年度)	→	1,230	(R11年度)
	目標2: 安全・安心、快適な都市空間を創出し、人々が集い、賑わい、交流するまちづくり 目標3: 官民一体となった賑わいのある歩行者空間の創出		歩行者等通行量 (人/日)	18,414	(R6年度)	→	20,000	(R11年度)

